

西広島バイパス都心部延伸事業の円滑な推進に向けた官民連携会議

議事要旨

開催日時：令和7年9月3日（水） 10時～11時40分

開催場所：広島国際会議場 小会議室ラン

出席者：一般参加者を含め96名

主催：国道2号西広島バイパス高架建設促進期成同盟会
西広島バイパス都心部延伸事業促進協議会

議事要旨

1 開会

2 挨拶

（期成同盟会会長）

- ・ 西広島バイパス都心部延伸事業は大改造が進む本市都心部への導入路として、広島広域都市圏の発展に不可欠である一方、懸案となっているのが、工事に伴う渋滞対策である。
- ・ 官民が力を合わせて渋滞対策に取り組むことを確認・実践する場として本日の会議を開催する。

（期成同盟会顧問）

- ・ 非常に重要な事業であり、一日も早い完成を願っている。
- ・ 本日お集りの皆様が結束し事業が円滑に進むことを期待している。
- ・ サッカースタジアム建設やG7サミット開催などと同様に、広島が一丸となって前進できるよう尽力する。

3 説明・発表

(1) 本格工事開始に向けた取組について（国土交通省）

- ・ 本事業は、慢性的な交通渋滞の緩和を図るとともに、交通を高架部に転換させることで騒音などの沿線環境の改善を図るものである。
- ・ 本格工事となる高架橋下部工事は10月から開始する。
- ・ 工事中は、終日車線規制（昼間：6車線→4車線、夜間：6車線→2車線に規制）を行う。
- ・ 規制により交通容量が約3分の2に減少し、現在と同じ交通量では最大9kmの渋滞が予測されるため、官民一丸となった渋滞対策が必要である。

(2) 渋滞緩和に向けた取組について（広島市）

- ・ 以下の3つの協力をお願いしたい。
 - ① 公共交通や自転車への乗り換え（有効活用）
 - ② 時差出勤・テレワーク
 - ③ 迂回ルートの利用

- ・ 渋滞対策に取り組む企業・団体を募集し、特設ホームページでの紹介や国土交通省からの感謝状の贈呈を計画しているので、積極的な参加をお願いしたい。

(3) 公共交通機関の取組について（広島県バス協会）

- ・ バスについて、以下の3つの取組を実施する。
 - ① 朝ラッシュ時間帯に一部運行経路を変更した急行便を運行
 - ② 遅めの時差出勤に便利な8時台後半～9時台の便を新設
 - ③ 早めの時差出勤に合わせて7時台の便を6時台にシフト

4 基調講演 「行動変容」で混雑は解消する～大規模道路工事でも渋滞しない学術的理由～ (道路整備と国家の成長について)

- ・ 世界の主要な国々は、都市間の高速道路に積極的に投資し生産性を高めており、高いGDP成長率を誇っている。特に中国はすごい速さで整備している。一方、日本では、道路整備は不要といった風潮があり、世界の主要な国々と比べて整備が遅れており、道路をしっかりと整備し生産性を高めた国々に比べ、GDP成長率が極めて低い。

(都心のにぎわい)

- ・ 先ほど述べたように都市の発展には道路整備が必要であるが、都心に限っては自動車を排除した方がにぎわう。京都の四条通りで車線を削減し歩道を拡幅した事例では、まちがにぎわい、都心に行く人が増えた。ドイツでは都市間の高速道路を整備する一方、都心から自動車を排除するまちづくりを進めている。

(車線規制と行動変容について)

- ・ 阪神淡路大震災が起こった際、高速道路が倒壊し容量が圧倒的に不足することになったが、人々がその状況に対応し、混乱は最小限にとどまった。また、先ほどの京都の四条通りの歩道拡幅の事例では、人々が行動を変容させ、クルマから公共交通に転換（モーダルシフト）したことから、断面交通量自体が減少し、付近の道路も含め混雑は生じなかった。
- ・ こうした道路の交通容量が減少した事例について、12か国60以上の事例を確認したところ、全てのケースで事前に危惧されていた混乱は確認されなかった。これは、人々が状況の変化に合わせて行動を変容させたからであると考えられる。
- ・ だからこそ本日の会議のように、企業・行政・メディアが一同に会し、協力を呼び掛けることが大事である。
- ・ なお、工事期間を乗り越えてバイパスができれば、都市の競争力は確実に向上する。

5 基調講演を踏まえた意見発表

- ・ 商工センター地区内の事業者には情報提供し、自動車の利用を抑制するよう呼び掛けるなど渋滞対策に取り組む。
- ・ 企業としてテレワークなどの自助努力を通じて地域貢献を目指す。
- ・ 渋滞緩和に向けて機運を高めていくことに賛同する。関係自治体と連携し企業・市民に呼び掛ける。

6 総括（とりまとめ）

- ・ 渋滞対策について、基調講演にあったように「行動変容」が重要である。
- ・ 経済界、促進協議会の使命としてステークホルダーに伝え、行政と経済界が一体となり渋滞対策に取り組む。
- ・ 本日の議論を踏まえ、行動宣言（案）を作成した。

行動宣言（案）

- ◎ 各企業・団体、自治体が自ら渋滞対策“行動変容「3つのしょうや〜」”に取り組む。

<3つのしょうや〜>

- ① 公共交通や自転車に乗り換えようや〜（有効活用しようや〜）
- ② 時差出勤・テレワークを活用しようや〜
- ③ 迂回ルートを利用しようや〜

- ◎ 各企業から関連会社、各団体から構成企業、自治体から市民などにも広く協力を呼び掛ける。

（賛同の拍手）

- ・ 行動宣言「3つのしょうや〜」を多くの企業・団体に呼び掛け、取組の輪を広げていく。（閉会）

以上